

マルチファイルプレーヤー

KAMELEON (MFP-330) 取扱説明書

Ver.1.10

(Release Ver.1.05.2)

Multi File Player



株式会社 オンテック



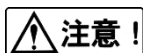
[illegible]

安全上のご注意

安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読み下さい。
また、お読みになったあと、いつでも見られるところに必ず保管して下さい。



この表示の欄は、「死亡又は重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。



この表示の欄は、「傷害を負う可能性又は物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

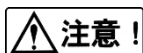


■発煙、異常過熱、異臭、異音が発生した場合、すぐに使用を中断いただき、電源プラグをお抜きください。火災、感電につながる恐れがあります。

■内部に水が入った時や、外装ケースが破損した場合は、すぐに使用を中断していただき、電源プラグをお抜きください。
火災、感電につながる恐れがあります。

■水をかけたりぬらしたりしないでください。内部に水が入ると火災、感電、故障につながります。
水が入ったときは近くのサービス会社にご相談ください。

■ 分解や改造をしないでください。 火災、感電、故障につながります。



■高温になる所に放置しないでください。

特に真夏の車内、車のトランク内は、想像以上に高温となります。本機を放置しないでください。故障の原因となります。

そのまま使用しますと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災、感電等の恐れがあります。

■結露に注意

寒い所から急に暖かい所へ移動したとき、冷房の効いた部屋や車内から急に温度の高い所や湿度の高い所へ移動したときなどに結露が起こります。

そのまま使用しますと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災、感電等の恐れがあります。

■設置時や移動時に指をはさまないようご注意ください。

■お手入れについて

ほこりなどが入り込んだ場合、本体の故障につながります。また吸気性能が悪くなることにより、内部の放熱効果が低下します。

【免責事項に関して】

- 記録した映像の著作権に関しては、著作権法に基づいた管理をお願いいたします。
弊社はお客様が記録・再生された映像に対する、如何なる著作権上の責に関しても責を負いかねます。
 - 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意又は過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いかねます。
 - 本製品の使用又は使用不能から生ずる付随的な損害（記憶内容の変化、消失、録画、録音などの機会を逃した為に生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いかねます。
 - 接続機器（カメラやパソコンなど）との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いかねます。
-

目次

はじめに	1
概 要	1
操作上の注意点	1
既知の問題	1
1. 本体の説明	3
1) 前面/背面パネル	3
2) 操作ボタン	4
3) ステータス表示 LED	5
4) 音声出力確認用 LED	5
5) マルチカードリーダー	5
6) HD-SDI 出力・HDMI 出力	7
2. 起動と終了	8
1) 電源の入れ方	8
2) 起動中画面	9
3) 電源の切り方	9
4) 終了中画面	9
3. 画面説明	10
1) ファイル一覧表示画面	10
2) 再生中 OSD について	11
3) HDMI to SDI コンバート中 OSD について	11
4. メニュー	12
[1] CHG_DISP Function	13
[2] Play Pattern	13
[3] Play End	13
[4] Play Top	13
[5] File List	14
[6] File Filter	14
[7] Tmb Info	14
[8] Still Dur	14
[9] SDI2 LIST_MENU	15
[10] SDI2 OSD	15
[11] PHASE_H	15
[12] PHASE_V	15
[13] Version	15
5. ファイル再生	16

1)	メディアの装填	16
2)	メディアの取り外し	17
3)	再生(スタンバイ).....	18
4)	停止	19
5)	一時停止	19
6)	巻戻し・早送り	19
7)	頭出し用スロー送り	20
8)	表示切替	21
9)	連続再生 (※非シームレス).....	21
10)	リピート再生 (※非シームレス)	22
6.	HDMI to SDI コンバート機能	23
1)	出力	23
2)	停止	23
7.	その他の操作関連	24
1)	ファイルコピー機能	24
2)	リモートコントロール	25
	[1] テンキーでのコントロール	25
	[2] ネットワーク経由のコントロール(未実装).....	25
3)	ソフトウェアアップデート	26
4)	スマートフォンの USB 接続での利用について	28
	[1] 縦撮影ファイルについて	28
	[2] Android 端末	28
	[3] iOS デバイス	28
8.	HDMI 抜け防止措置	29
9.	対応ファイル	30
10.	基本仕様	33

はじめに

本書はマルチファイルプレーヤー KAMELEON(MFP-330)(以下、本システム)の取扱説明書です。

概 要

本システムでは、特殊なライセンスを必要としない民生用のビデオコーデック/画像コーデックで作られたファイルを、HD-SDI 信号及び、HDMI 信号にして映像出力する装置です。

フレームシンクロナイザーを装備しているため、出力される HD-SDI 信号は、リファレンスに同期をかけることができます。

また、1920x1080i の HDMI 信号を HD-SDI 信号にするコンバート機能も有しています。

操作上の注意点

- **メディアの読み込み中や再生中に、メディアを抜き取らないでください。**
メディアの内容が破損する可能性があります。システムが停止する可能性があります。
- 本システムで再生中に**本体電源ボタンの操作**はしないで下さい。
- Video ファイルを再生中に速度を変更すると、ボタン押下のタイミングで**黒味を挟みます**。
- 静止画ファイルは黒味を挟まずに連続で再生できるように設計しておりますが、ファイルの読み込み遅延によって、**黒映像を挟む場合があります**。静止画の動画からのつながり・動画へのつながり、及び動画同士のつながりでは、**必ず黒映像を挟みます**。
- ヘッドフォンアウトからは、**起動時にノイズ**が発生します。イヤホン・ヘッドホン・スピーカーを接続の際には、起動後に接続・装着する様にしてください。

既知の問題

現在のバージョンでは下記の現象が確認されています。

ご不便をおかけいたしますが、ご利用に際しては、ご留意頂きますようお願い申し上げます。

- ファイル一覧のテキスト表示の時、TOP ページから END ページの移動ができません。
⇒(回避策)サムネイル表示に切り替えて、TOP⇔END ページの移動をご利用ください。
- USB ポートに接続した複数のメディアを装填した USB ハブを、ハブごと抜いて一斉に複数のメディアが外された場合、メディアが抜かれたことを検出できず、ファイルリストが更新されません。
⇒(回避策)メディアは一つずつ取り外して下さい。

- ファイル数の多いメディアを装填した場合、ページ移動のタイミングでシステムがフリーズする場合があります。
⇒※お手数ですが、再起動をお願い致します。
- メディアを挿したまま起動をすると、エラーメッセージで起動できない場合があります。
⇒(回避策)起動時にはカードリーダーのメディアを抜いておいてください。
- メディア内のファイル数、メディアの種類等の何らかの条件で、装填したまま起動したメディアのファイルが、起動直後または一回目の再生～停止後、二重に表示されることがあります。
⇒(回避策)起動時にはカードリーダーのメディアを抜いておいてください。発生した場合、そのメディアを一度抜き差ししてください。
- 3ch 以上の音声を持つファイル再生において、3ch と 4ch が入れ替わって出力されます。
⇒※後段の機器の PAN やチャンネル入れ替えで、対応をお願い致します。

1. 本体の説明

本体の各部の説明をします。

1) 前面/背面パネル

各部の名称は以下の通りです。



図 1 本体フロント・リアパネル

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| ① HDMI 入力端子(1920/1080i のみ) | ⑩ USB3.0 端子 |
| ② 2.0inch 液晶パネル | ⑪ 12V DC 電源入力端子 XLR-4P |
| ③ 操作ボタン | ⑫ 排気口 |
| ④ 音声出力ボリュームコントロールボタン | ⑬ LAN 端子 |
| ⑤ 音声出力(ステレオ 3.5φ) | ⑭ USB 2.0 端子 x 2 |
| ⑥ ステータス表示 LED | ⑮ HDMI 出力 ※1 |
| ⑦ POWER スイッチ | ⑯ HD-SDI 出力端子 x 2 |
| ⑧ 音声出力確認用 LED | ⑰ リファレンス入力端子 |
| ⑨ マルチカードリーダー | |

※1：背面の HDMI のケーブル抜け防止のためのパーツを付属。

※2：接着タイプのゴム足を付属。

2) 操作ボタン

フロントパネルの操作ボタンについて説明します。
本体フロントの操作ボタンの機能は、次の通りです。

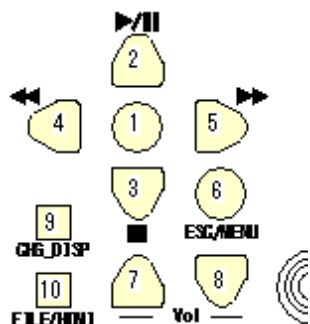


図 2 本体フロント/操作ボタン

画面についての説明は後述します。

ファイル選択画面	ファイル再生中画面	HDMI to SDI 変換中
1 : Ent/決定/Stand-by/再生※1	1 : (なし)	1~6 : (なし)
2 : カーソル上	2:再生/一時停止	
3 : カーソル下	3:停止	
4 : カーソル左	4:巻き戻し(/スロー※2)	
5 : カーソル右	5 : 早送り(/スロー※2)	
6 : ESC/MENU	6:リスト画面を表示	
7 : ヘッドフォン Volume Up	7:(←同左)	7:(←同左)
8 : ヘッドフォン Volume Down	8:(←同左)	8:(←同左)
9:LCD 表示内容切り替え/ ファイルコピー※3	9 : (なし)	9 : (なし)
10 : HDMI へ切り替え	10 : (なし)	10:コンバート出力停止

表 1 本体フロント/操作ボタン

※1 : Play Top の設定が"Direct"の場合、選択 = 再生の動作をします。

※2 : PAUSE からの押下で、スロー再生になります。このスロー再生は、頭出しのための機能です。

※3 : 「MENU : CHG_DISP Function」の設定で機能を切り替えます。

3) ステータス表示 LED

それぞれの以下のステータスを表します。

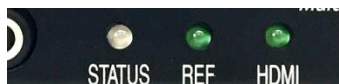


図 3 フロントパネル LED

STATUS – 緑点灯	: エラーなし
STATUS – 赤点灯	: エラー(液晶にメッセージ表示実装予定)
REF – 緑点灯/消灯	: REF 入力・検出 / 未入力
HDMI – 緑点灯/消灯	: HDMI 入力・検出 / 未入力

4) 音声出力確認用 LED

音声の出力レベルに合わせて点滅します。



図 4 フロントパネル LED(オーディオ)

再生ファイルに音声がある場合、再生中に LED が点灯します。

GREEN : 基準レベル以下 RED : 基準レベル以上で点灯します。

(※基準レベル : サンプリング 24 ビットをフルスケールとした-18dB のレベル)

5) マルチカードリーダー

マルチカードリーダーの仕様を説明します。



図 5 本体フロント/マルチカードリーダー

搭載可能のメディア：

(上段左) Memory Stick/Memory Stick Duo

- ・ MS ・ MS/マジックゲート対応 (※3) ・ MS ROM ・ MS/メモリーセレクト機能付 ・ MS Pro
- ・ MS Pro High Speed ・ MS Pro マジックゲート対応 (※3)
- ・ MS Pro High Speed マジックゲート対応 (※3) ・ MS Duo ・ MS Duo High Speed
- ・ MS Duo マジックゲート対応 (※3) ・ MS Pro Duo ・ MS Pro Duo High Speed
- ・ MS Pro Duo マジックゲート対応 (※3) ・ MS Pro Duo High Speed マジックゲート対応 (※3)

(上段中) SD / SDHC / SDXC ・ Multi Media Card

- ・ SD メモリーカード ・ SDHC メモリーカード Class2/Class4/Class6/Class10 (※1)
- ・ SDXC メモリーカード Class10 (※1)
- ・ MMC/MMC 4.0/ MMC 4.2 ・ RS-MMC/RS-MMC 4.0/HS-MMC
- ・ HS RS-MMC ・ MMC Mobile ・ MMC Plus ・ MMC Micro (※4)

(上段右) Micro SD / Micro SDHC

- ・ micro SD カード
- ・ micro SDHC カード Class2/Class4/Class6/Class10 (※1)
- ・ micro SDHC カード UHS-I (※2)
- ・ micro SDXC カード Class10 (※1)
- ・ micro SDXC カード UHS-I (※2)

(下段左) Compact Flash ・ Micro Drive

- ・ CF Type-I/UDMA6/UDMA7 ・ CF Type-II ・ CF Ver 3.0 ・ CF Ver 4.0
- ・ マイクロドライブ

(下段中) xD ピクチャーカード

- ・ xD ピクチャーカード/Type M/Type M+/Type H

(下段右)USB3.0 ポート

※1 スピードクラスは、Class2、4、6、10 で表示され、通常モードまたは高速バスインターフェイスモードが対象です。

※2 UHS-I は、UHS-I バスインターフェイス用に設定されています (スピードクラスとは互換性はありません)

※3 本製品はリード/ライト専用です。著作権保護機能、マジックゲート機能、ID 機能には対応していません。

※SDXC メモリーカードを旧来の SDHC 対応機器でフォーマットすると FAT32 でフォーマットされ、64GB 以上の SDXC メモリーカードであっても利用できる上限容量が 32GB に変更されてしまいますのでご注意ください。

6) HD-SDI 出力・HDMI 出力



図 6 HD-SDI 出力・HDMI 出力

HD-SDI1 には、停止中は、黒映像が出力されます。再生中は OSD のない再生映像を出力します。

HD-SDI2 と HDMI には、停止中は、ファイルリストやメニューを出力します。

メニューにより黒映像に出力できます。再生中は、OSD 付きの再生映像が出力されます。

メニューにより OSD をオフにできます。

2. 起動と終了

本システムの起動と終了の方法を記述します。

1) 電源の入れ方

本体背面に、専用 AC アダプタを接続し、その先を電源コンセント等に接続してください。

バッテリーで駆動する場合、XRL4pin のバッテリープレート等に装着したバッテリーを、同じく背面に接続してください。



図 7 背面 12V DC 電源入力端子 XLR-4P



図 8 AC アダプタ(付属) バッテリープレート

※バッテリープレートは付属していません。

電源を投入するには、前面の電源ボタンを押して下さい。



図 9 前面 電源ボタン

2) 起動中画面



図 10 起動中画面

起動中は、LCD にロゴとバーが表示されます。
(バーは起動までの残時間を表すものではありません。)
起動が完了すると、「ファイル選択画面」が表示されます。

SDI 及び、HDMI には、この画面は出力されません。
(SDI1/2 及び HDMI には、Windows の起動画面が表示される場合があります。)

3) 電源の切り方

本製品の電源を切る前に、以下の点をご確認ください。

- ✓ 動作モードを FILE モードにしてください。
- ✓ メディアの再生を停止して下さい。

電源ボタンを長押し(約 3 秒)すると、シャットダウン処理を開始し電源が切れます。



図 11 前面 電源ボタン

4) 終了中画面

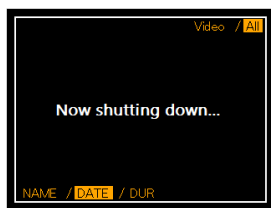


図 12 終了中画面

終了中は、LCD に「Now shutting down...」のメッセージが表示されます。

SDI 及び、HDMI には、この画面は出力されません。
(SDI1/2 及び HDMI には、Windows のシャットダウン画面が表示される場合があります。)

3. 画面説明

1) ファイル一覧表示画面

起動直後に表示されるファイル一覧表示画面について、説明します。

ファイル一覧表示画面は、本体 LCD または、SDI2 及び、HDMI※に映像出力されます。

※メニュー SDI2 LIST : ON 設定時



図 13 ファイル表示(リスト)

<テキストリスト表示>

装填された全メディアから映像ファイル・画像ファイルを表示します。

ファイル名と併せて、ファイルの尺/ファイル作成日時を表示します。

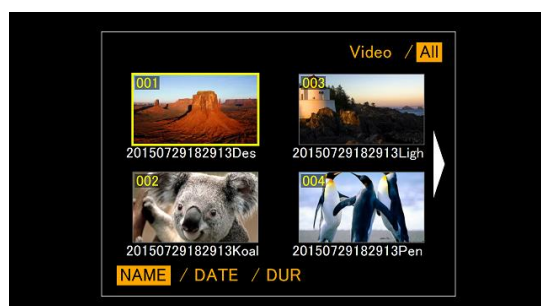


図 14 ファイル表示(サムネイル-4 枚表示)

<サムネイル-4 枚表示>

サムネイルの一覧と下部に記録時間（尺）/記録日時/ファイル名等を切り替えて表示します。

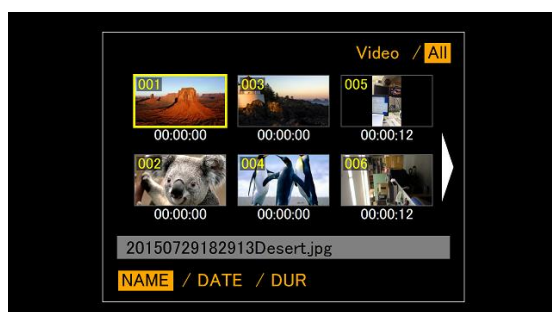


図 15 ファイル表示(サムネイル-6 枚表示)

<サムネイル-6 枚表示>

サムネイルの一覧と下部に記録時間（尺）、下の情報欄に記録日時/ファイル名を切り替えて表示します。（情報欄は選択されたファイルの情報のみ）

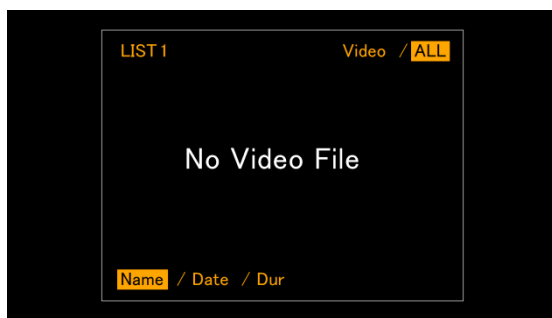


図 16 ファイル表示(No Video File)

＜ファイルが存在しない＞
再生できるファイルが存在しない場合は、ファイル名・サムネイル等は表示されません。

2) 再生中 OSD について

```
PLAY 00:00:00 (Dur00:00:12)
SPEED=1 PLAY=Single END=Stop
```

図 17 再生中 OSD

OSD には、再生ステータス、再生カウンター、再生中のファイルの素材尺(Dur)が 1 行目に表示され、再生スピードが 2 行目の左に表示されます。

その右に表示されているのは、Play Pattern※と Play End※の現在の設定が表示されます。

※再生操作については P16～参照 メニューについては P12～参照

3) HDMI to SDI コンバート中 OSD について



図 18 コンバート中 OSD

OSD に HDMI であることを表示します。

※コンバート操作については P23～参照

4. メニュー

メニューについて説明します。

メニューに入るには、ファイル一覧表示中に本体フロントの[ESC/MENU]ボタンを押下します。
メニューから抜けるには、再度、[ESC/MENU]ボタンを押下します。

メニューでの操作：

- 上下ボタン : メニューカーソルの移動
- 左右ボタン : メニューの選択状態へ移行 / 項目の変更
- 決定ボタン : メニューの選択状態へ移行 / 変更した項目の決定
(十字キー中央)
- [ESC/MENU]ボタン : 選択状態から抜ける(項目変更のキャンセル)

メニュー一覧

	項目	選択肢
MENU1	CHG_DISP Function	List / Filter / Tmb/Copy
	Play Pattern	Single / ALL
	Play End	Still / Stop / Repeat
	Play Top	Stand-by / Direct
	File List	Text / Tmb4 / Tmb6
	File Filter	Video / ALL
	Tmb Info	Name / Date / Dur
MENU2	Still Dur	5s/ 10s/ 15s/ 20s/ 25s/ 30s/ 45s/ 60s
	SDI2 LIST_MENU	ON / OFF
	SDI2 OSD	ON / OFF
MENU3	PHASE_H	0 ~ 2199
	PHASE_V	0 ~ 1124
	VERSION	Show

[1] CHG_DISP Function

ファイル一覧表示画面における、本体前面[CHG_DISP]ボタンの機能を変更できます。

- List : Text⇒Tmb4⇒Tmb6 を切り替え(MENU / File List の機能)
- Filter : リストの Video⇔ALL 表示を切り替え(MENU / File Filter の機能)
- Tmb : サムネイル表示例の NAME⇒DATE⇔DUR、または NAME⇔DATE を切り替え
(テキストリスト表示時には機能しません) (MENU / Tmb Info の機能)
- Copy : 任意のファイルを選んで、内蔵 SSD にコピーします。

[2] Play Pattern

ファイル再生の再生パターンを切り替えられます。

- Single : 選択したファイルのみを再生します。
- All : 選択したファイルから再生を開始し、そのファイル以降にリストに表示された
すべてのファイルを順番に再生します。

※ファイル切り替え時の映像は、シームレスにはつながりません

[3] Play End

ファイル再生の終端での動作を選択できます。

- Still : 選択したファイルの最後の映像を、停止するまで出力し続けます。
- Stop : 選択したファイルの最後まで再生すると、停止してファイルリストに戻ります。
- Repeat : 選択したファイルを繰り返し再生します。

※ファイルの終端と先頭の映像は、シームレスにはつながりません

[4] Play Top

ファイル選択後の再生先頭での動作を選択できます。

- Stand-by : ファイルを選択([Ent]押下)した後、ファイルの先頭でスタンバイし、再生操作
を待ちます。
- Direct : ファイルを選択([Ent]押下)した後、ファイルの先頭でスタンバイせず、再生を
はじめます。

[5] File List

ファイル一覧表示画面のリストの表示方法を選択できます。

Text : リスト表示
Tmb4 : サムネイル-4 枚表示
Tmb6 : サムネイル-6 枚表示

[6] File Filter

ファイル一覧表示画面に表示するファイルを変更できます。

Video : 再生可能な映像ファイルのみを一覧に表示します。
ALL : 再生可能な映像ファイルに加え、静止画ファイルも表示します。
(表示される拡張子は、「P30 9 対応ファイル」を参照)

[7] Tmb Info

ファイル一覧表示をサムネイルのいずれかに設定した際に、サムネイルリストに表示する情報を変更できます。

NAME : 4 枚表示の場合、サムネイルの下にファイル名を表示します。
6 枚表示の場合、情報欄に選択したファイルのファイル名を表示します。
DATE : 4 枚表示の場合、サムネイルの下に記録日時を表示します。
6 枚表示の場合、情報欄に選択したファイルの記録日時を表示します。
DUR : 4 枚表示の場合、サムネイルの下に素材長を表示します。
6 枚表示の場合は、選択できません。

※ 4 枚表示で DUR を選択した後、「File List」で「Tmb6」を選択した場合、「NAME」に設定されます。

※ これらを切り替えても、リストの並び順は、ファイルのフルパス名の順に並びます。

[8] Still Dur

Play Type を ALL にした場合に、静止画ファイルの再生時間を設定します。

[9] SDI2 LIST_MENU

停止時に SDI 2 及び、HDMI にファイル一覧やメニューを出力するか否かを切り替えられます。

OFF にした場合、停止時は黒映像が出力されます。

SDI1 には、常時、黒映像が表示されます。

[1 0] SDI2 OSD

SDI2 の OSD 表示の ON / OFF が切り替えられます。

OFF にした場合でも、停止中はリストが表示されます。

SDI1 には OSD は表示されません。

[1 1] PHASE_H

水平方向のシステムフェーズを設定します。

※左右キーで 1STEP ずつ変化するので、大きく変更する場合、テンキーを使用し、押しっぱなしにして連続変化させるようにすると便利です。

[1 2] PHASE_V

垂直方向のシステムフェーズを設定します。

※左右キーで 1STEP ずつ変化するので、大きく変更する場合、テンキーを使用し、押しっぱなしにして連続変化させるようにすると便利です。

[1 3] Version

“Version”にカーソルを合わせ、決定ボタンを押したのち、Show を選択して決定ボタンの押すと、本体のバージョンが確認できます。[ESC]ボタンをおすと、メニューに戻ります。

5. ファイル再生

MFP-330 の再生操作方法を記述します。

1) メディアの装填

前面のカードスロット、または、前面背面の USB スロットに使用したいメディアを挿入・接続してください。(対応メディアは、「P5 5) 1.5) マルチカードリーダー」をご覧ください)

メディアが認識されると、メディア内のデータの読み込みを開始します。

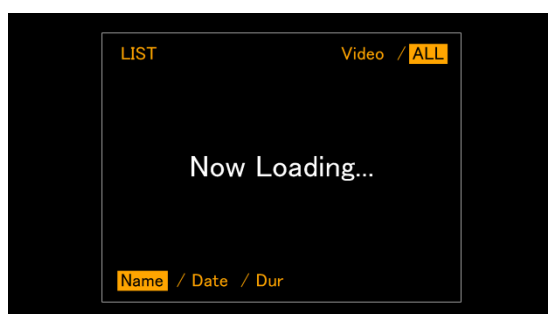


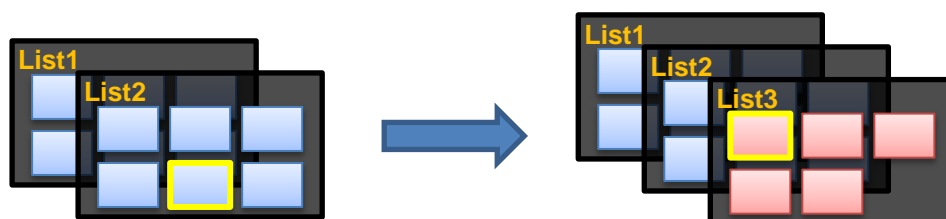
図 19 ファイル選択読み込み中

読み込みが完了すると、フィルター(Video / ALL)に従ってファイルが表示されます。

後差しメディア優先表示機能

カードリーダーまたは USB コネクタに、外部メディアが挿入/接続された場合、後差しされたメディアのファイルは、既存のファイルの後ろに表示されます。

その際、そのドライブ内の先頭のファイルにカーソルが移動します。



メディア 1 装填状態

→

メディア 2 追加

→

メディア 1/2 装填状態

メディア 2 内のファイルは、リストの後ろに追加され、カーソルがその先頭に移動する。

(※説明上、ファイルの色が違うのはイメージです。製品ではどのメディアのファイルかの区別はされません)

2) メディアの取り外し

メディアの取り外し操作は特にありませんが、以下の操作を行うと、システムが停止してしまいますのでご注意ください。

注意！！

- X ファイル一覧“Now Loading...”と表示されている最中は読み込み中です。いずれのメディアも抜かないでください
- X 再生中はいずれのメディアも抜かないでください
- X メディア自身のアクセスランプについては、それぞれの説明書をご覧ください

上記に注意して、メディアを引き抜いてください。

停止してしまった場合、電源ボタンを長押しして本体の電源を切り、再起動して下さい。

3) 再生(スタンバイ)

ファイル一覧表示画面から、任意のファイルの再生を行います。

サムネイルを囲む(テキストリストではテキストを囲む)黄色い枠が現在選択されているファイルです。前面の十字キーでカーソルを動かし、再生するファイルに合わせます。

TOP ページで左ボタンまたは END ページで右ボタンを押すと、それぞれ END ページ・TOP ページにジャンプします。

X サムネイル表示でページを切り替えるとき、メディアによって読み込みに時間がかかるため、スムーズにページ移動できない場合があります。

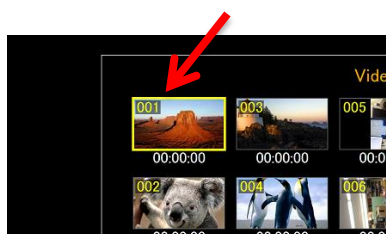


図 20 ファイル選択カーソル(サムネイル-6 枚表示)

決定ボタンを押した後、ファイルの先頭でスタンバイを行います。その後、再生▶(十字上)ボタンを押すと、再生を開始します。

MENU / Play Top=Direct の場合は、決定ボタンを押すと、再生を開始します。



図 21 前面 決定ボタン / 再生ボタン

再生中は、SDI 1 には、**映像のみ**が出力されます。

SDI2・HDMI には、OSD 付きの映像が出力されます。(ON/OFF 切り替え可)

LCD も再生中の画面が表示されます。

➡ OSD のステータス=PLAY / SPEED= 1

➡ LCD のステータス=PLAY

4) 停止

再生中に、停止■(十字下)ボタンを押すと、再生が停止されます。
再生が停止すると、ファイル一覧表示画面に戻ります。



図 22 前面 停止ボタン

5) 一時停止

再生中に、一時停止II(十字上)ボタンを押すと、再生を一時停止できます。



図 23 前面 一時停止(再生)ボタン

- ⇒ OSD のステータス = PAUSE / SPEED=0
- ⇒ LCD のステータス = PAUSE

一時停止中に再生▶ボタン(※同じボタン)を押すと、等倍再生に戻ります。

6) 巻戻し・早送り

再生中に、巻戻し◀◀(十字左)ボタンまたは、早送り▶▶(十字右)ボタンを押すと、巻戻し・早送りの操作ができます。

巻戻し・早送りの速度は、それぞれ、巻戻しが 10 段階(SPEED = -1~-4(1 ずつ)、-10~-60(10 ずつ))、早送りが 9 段階(SPEED=2~4(1 ずつ・音声付)、10~60(10 ずつ・音声なし))です。

ファイルにより定まった速度ではないので、SPEED のパラメータは段階を表示しています。(n 倍速の意味ではありません。)



図 24 前面 巻戻しボタン / 早送りボタン

- ⇒ OSD のステータス = REW / SPEED = -1 ~ -4, -10 ~ -60, FWD / SPEED = 1 ~ 4※, 10 ~ 60
 - ⇒ LCD のステータス = << 1 ~ 4※, 10 ~ 60, >> 1 ~ 4※, 10 ~ 60
- (※PLAY から▶▶では SEEPD=2, SPEED=2 から◀◀で SPEED=1)

巻戻し・早送り中に再生▶ボタンを押すと、等倍再生に戻ります。

※ファイルにより、スムーズな映像にならず、連続スチルになる場合があります。

※ファイルにより、音声を追従しない場合があります。

7) 頭出し用スロー

一時停止中に、巻戻し◀◀(十字左)ボタンまたは、早送り▶▶(十字右)ボタンを押すと、スロー操作ができます。

スロー戻しの速度は、9 段階(SPEED = -0.1 ~ -0.9)です。

スロー送りの速度は、9 段階(SPEED = 0.1 ~ 0.9)です。

ファイルにより定まった速度ではないので、SPEED のパラメータは段階を表示しています。(n 倍速の意味ではありません。)

スロー送り中は、音声も追従します。

- ⇒ OSD のステータス = REW / SPEED = -0.1 ~ -1 FWD / SPEED = 0.1 ~ 1※
- ⇒ LCD のステータス = << 0.1 ~ 1※, >> 0.1 ~ 1※

(※SPEED=0.9 から▶▶で SEPPD=1、

FWD・SPEED=1 から◀◀でもスロー送りになります。PLAY・SPEED=1 からはスローにはなりません。)

スロー送り中に、再生/一時停止▶/||ボタンを押すと、一時停止になります。

※ファイルにより、スムーズな映像にならず、連続スチルになる場合があります。

※ファイルにより、音声を追従しない場合があります。

8) 表示切替

停止中に[CHG_DISP]ボタンを押すと、LCD の表示を切り替えます。



図 25 前面 CHG_DISP ボタン

ファイル一覧表示の表示内容を変更できます。

[CHG_DISP]ボタンに割り当てる機能は、MENU / CHG_DSIP Function で切り替えられます。(P13 参照)

9) 連続再生 (※非シームレス)

MENU / Play Pattern = ALL に設定すると、選択したファイルから再生を開始し、そのファイル以降にリストに表示されたすべてのファイルを順番に再生することができます。

静止画は、3 秒間表示されたら、次のファイルに移行します。

OSD に PLAY=ALL と表示されます。

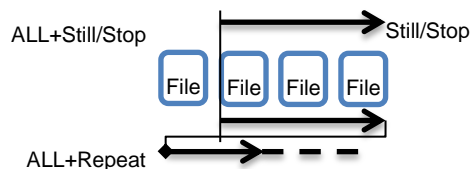
```
PLAY 00:00:00 (Dur00:00:12)
SPEED=2 PLAY=ALL END=Still
```

※LCD に設定に基づく表示なし

図 26 連続再生 OSD イメージ

※ファイル切り替え時の映像は、シームレスにはつながりません

※ALL + Still/Stop の場合、再生を開始したファイルより前には戻りません



10) リピート再生 (※非シームレス)

MENU / Play End=Repeat にすると、リピート再生ができます。

MENU / Play Pattern=Single に設定した場合、単一クリップを繰り返し再生することができます。

MENU / Play Pattern=ALL に設定した場合、リストの最後のファイルまで再生したのち、リストの先頭のファイルから継続して再生させることができます。

OSD に END=Repeat と表示されます。



```
PLAY 00:00:00 (Dur 00:00:12)
SPEED=2 PLAY=ALL END=Repeat
```

※LCD に設定に基づく表示なし

図 27 リピート再生 OSD イメージ

※ファイルの終端と先頭の映像は、シームレスにはつながりません

6. HDMI to SDI コンバート機能

フロントの[FILE / HDMI]を押すと、HDMI to SDI コンバート機能が使用できます。



図 28 前面 FILE/HDMI 切替ボタン

補足>>

- 1080 59.94i の信号のみコンバート可能です。
- 1080 59.94i 以外の信号入力された場合、黒映像を出力します。
※エラーを検出できなかった場合に、非同期映像の出力になる場合があります。

1) 出力

コンバート機能が ON の状態で、HDMI IN に映像が入力されると、映像出力が自動でコンバートされた映像に切り替わります。

コンバート中機能を ON にすると LCD 及び、出力映像は HDMI MODE に切り替わり、未入力の場合は、黒映像の出力になります。

(LCD 及び未入力時の SDI2/HDMI には”HDMI MODE”の表示、変換時の OSD は”HDMI”表示)

※ファイルの再生中にはコンバート機能を ON にできません。

※LCD にコンバートの出力イメージは表示されません。

2) 停止

コンバート出力中に[FILE/HDMI]ボタンを押すと、コンバート機能が停止します。
ファイル選択画面に戻ります。

7. その他の操作関連

その他、操作に関連する説明を記述します。

1) ファイルコピー機能

外部メディアの中にあるファイルを、内蔵 SSD の領域にコピーすることができます。

MENU / CHG_DISP Function=COPY に設定すると、ファイル一覧のカーソルの色がピンクになります。

ファイル一覧から十字キーでコピーしたいファイルにカーソルを合わせてください。

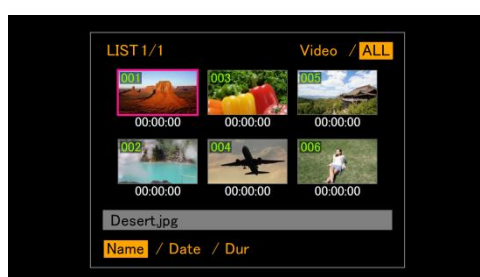


図 29 ファイルコピー/カーソル

フロントパネルの[CHG_DISP]ボタンを押すと、確認画面に移動します。

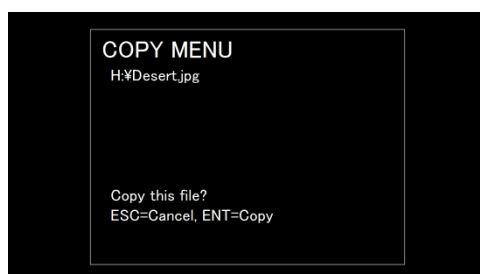


図 30 ファイルコピー/確認

確認画面では、選択したファイルのロケーションが表示されます。

X:¥ドライブが内蔵 SSD になるので、X:¥以外のファイルが選択されていることを確認して [Ent]ボタンを押すと、コピーを開始します。

X:¥ファイルが選ばれていると、コピーはエラーになります。

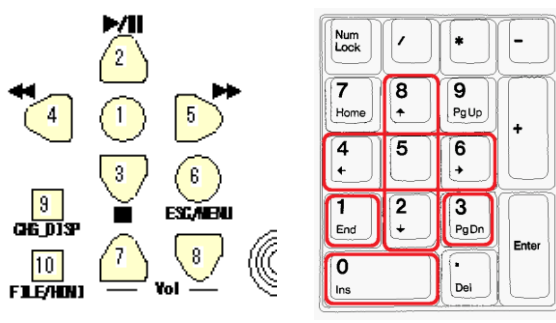
キャンセルする場合は、[ESC]ボタンを押して下さい。

2) リモートコントロール

[1] テンキーでのコントロール

USB にテンキー(もしくは、テンキー付きキーボード)を接続すると、テンキーで本体をコントロールすることができます。

前面のコントロールボタンが、テンキーの各番号に対応します。



1(十字中央)	: テンキー 5
2(十字上)	: テンキー 8
3(十字下)	: テンキー 2
4(十字左)	: テンキー 4
5(十字右)	: テンキー 6
6(ESC/MENU)	: テンキー 3
7	: (なし)
8	: (なし)
9(CHG_DISP)	: テンキー 1
10(FILE/HDMI)	: テンキー 0

図 31 テンキー対応表

[2] ネットワーク経由のコントロール(未実装)

現在、ネットワーク経由でのリモートコントロール機能は実装していません。

3) ソフトウェアアップデート

本体のソフトウェアアップデートを行う前に、以下の準備を行ってください。

- ① MFP-330 の再生及び、コンバート機能を停止してください
- ② MFP-330 の電源を落としてください。
- ③ アップデートファイルを保存するためのメディアをご用意ください
(対応メディアは、「P5 5) 1.5) マルチカードリーダー」をご覧ください)

<手順①.> アップデートファイルを準備する

弊社 Web サイトまたは、サポートよりアップデートファイルを入手してください。

弊社 Web サイト(<http://www.ontec.co.jp/vc/download.html>)

サポートへメール(<http://www.ontec.co.jp/vc/contact.html>)

入手したファイルを、アップデート用に準備したメディアで解凍してください。

第一階層に「UPDATE_MFP330」というフォルダが出来ていれば正常です。

例) E ドライブの場合

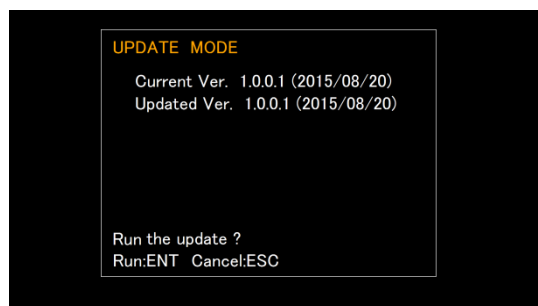
E:¥UPDATE_MFP330¥APP 以下にアップデートファイル

<手順②.> アップデート用のメディアを装填する

アップデート用ファイルを保存したメディアを、MFP-330 に装填してください。

<手順③.> 電源を入れる

MFP-330 本体の電源を入れてください。



起動中にアップデートファイルを認識すると、画面に左記のメッセージが表示されます。

Current Ver. = 現行のバージョン

Updated Ver. = 書き換えられるバージョン

図 32 UPDATE MODE

※メディア内のバージョンが同じ場合、表示されません

<手順④.> アップデートを実行する

表示されているバージョンに間違いがなければ、決定(十字中央)ボタンを押してアップデートを行って下さい。更新後、自動でソフトウェアが起動します。

(※キャンセルする場合は、[ESC/MENU]ボタンを押下。そのまま起動します。)

<手順⑤.> 更新バージョンを確認する

ソフトウェアの起動後、「MENU : Version」からバージョンを確認してください。

注意！！

X アップデート後、MENU 設定は引き継ぎません

補足>> ダウンデートする場合

- 更新時、アップデートファイルを入れたメディアに、現行バージョンのファイルをバックアップします。(E ドライブの場合 E:¥UPDATE_MFP330¥APPbackup_yyyymmdd)
- 別の PC 等を使用して、「UPDATE_MFP330」フォルダ下の「APP」フォルダを、バックアップされたものと入れ替え、再度アップデートの手順を行ってください。

4) スマートフォンの USB 接続での利用について

※ Android 端末 = Google 社 Android OS 搭載のスマートフォン・タブレット
iOS デバイス = apple 社 iOS 搭載のスマートフォン(iPhone シリーズ)・タブレット(iPad シリーズ)
スマートフォン =上記の総称として ・ ・ ・ 以上のように定義して説明します。

[1] 縦撮影ファイルについて

※縦向きに撮影されたファイルは、初期バージョンでは、回転する機能を有していません。
次期バージョンで対応を予定しています。

[2] Android 端末

＜カードリーダーモードで動作する Android 端末＞

カードリーダーモードで動作する Android 端末の場合、USB－MicroUSB※¹ ケーブルで、Android 端末を MFP-330 に接続してください。

Android 端末に装填されている Micro SD に記録されている対応ファイルがファイル選択画面の一覧に表示されます。Android 端末の内蔵メモリに記録されているファイルは機種によって表示されない可能性があります。

※ 1：記述したケーブルの形状は一般的な Android 端末のものです。Android 端末の機種により異なる場合があります。

＜カードリーダーモードで動作できない Android 端末＞

カードリーダーモードで動作できない Android 端末のほとんどが、専用のドライバを経由して接続される仕組みのため、MFP-330 では利用できません。

[3] iOS デバイス

※現在、iOS 搭載の端末については、30 ピン-USB または Lightning-USB ケーブルで MFP-330 と接続しても、記録されているファイルは再生できません。(iOS デバイス内のファイルをブラウズするために、専用のドライバを経由するため)

8. HDMI 抜け防止措置

HDMI の抜け防止措置として、背面 HDMI コネクタの下のネジに結束バンドを結べるワイヤーを装着できます。



図 33 抜け防止用ワイヤー

<取り付け方>

背面 HDMI コネクタの下の穴のネジを一度外し、抜け防止用ワイヤーを取り付け、水平方向に折り曲げてください。

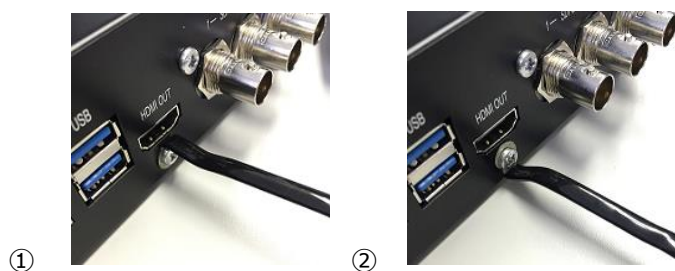


図 34 背面 抜け防止ワイヤー 装着

HDMI コネクタのシェルサイズが大きい場合、②のように下向きから水平になるように折り曲げてください。

HDMI ケーブルにワイヤーを這わせ、適当な位置で、結束バンドでケーブルとワイヤーを縛ってください。その後、ワイヤーを前方へ折り曲げ、固定してください。



図 35 背面 抜け防止ワイヤー 固定

9. 対応ファイル

再生可能なファイルについての情報は随時更新予定です。

更新情報は、弊社 Web サイト(<http://www.ontec.co.jp/vc/330file.html>)をご確認ください。

注意事項

- X このリストに該当する全てのファイルの動作を保証するものではありません。ファイルが作成された環境の違いなどによっては再生できない可能性があります。
- X 高画質・高解像度のファイルの場合、再生処理が追いつかず、正常に再生出来ない場合があります。
- X 拡張子については、このリストにあるもの以外は表示されませんが、コーデックやコーデックの組み合わせについては、その限りではありません。また、リストにないコーデックでも再生できるものがあります。
- X 主に使用させるデバイスについては目安です。該当しないケースが発生する場合があります。

ビデオファイル（順不同）

（2015/9/1 現在）

拡張子	映像コーデック	音声コーデック	備考 / 使用される主なデバイス
.mts	AVCHD/MPEG-4	LPCM	民生用ハンディカメラ
	AVCHD/MPEG-4	AC-3	民生用ハンディカメラ
.mp4	AVC/H.264	AAC	民生用ハンディカメラ 比較的新しいスマートフォン
	MPEG-4	AAC	
.mov	H.264	AAC	iPhone/iPad 等
	MPEG-4	Apple Lossless	
	MPEG-4	AAC	
	MPEG-4	PCM	
.3gp	H.263	AMR	携帯電話
	H.263	AAC	
	MPEG-4	AAC	携帯電話 比較的古いスマートフォン

拡張子	映像コーデック	音声コーデック	備考 / 使用される主なデバイス
.3g2	MPEG-4	AAC	比較的古いスマートフォン
.wmv	WMV9 Advanced Profile	WMA10 Pro	
	WMV9	WMA10 Pro	
	WMV9	WMA9 Lossless	
	WMV9	WMA9	
	WMV8	WMA	
	WMV3	WMA	
.asf	WMV9 Advanced Profile	WMA10 Pro	
	WMV9	WMA10 Pro	
	WMV9	WMA9 Lossless	
	WMV9	WMA9	
	WMV8	WMA	
.mpg/.mpeg	MPEG-1	MPEG audio Layer 1	
	MPEG-1	MPEG audio Layer 2	
	MPEG-2	MPEG audio Layer 2	
	MPEG-2	MPEG audio Layer 3	
.m2t	MPEG-2	MPEG audio Layer 2	
	MPEG-2	MPEG audio Layer 3	
.flv	FLV(H.263)	AAC	
	on2VP6	AAC	
.m4v	H.264	AAC	
.avi	H.264	MPEG audio Layer3	
.rm/.rmvb	RealTime(RV40)	RealTime(Cook)	

静止画ファイル（順不同）

（2015/9/1 現在）

保存形式	拡張子
JPEG	.jpg /.jpe /.jpeg /.jif
BMP	.bmp /.dib
GIF	.gif
PNG	.png
TIFF	.tif /.tiff

表 2 対応ファイル一覧

検証済みの非対応ビデオファイル（順不同）

（2015/9/1 現在）

拡張子	映像コーデック	音声コーデック	備考 / 使用される主なデバイス
.avi	Canopus_HQ	非圧縮	
	Cinepak	非圧縮	
	非圧縮	非圧縮	処理性能不足
.mov	DVCPRO	—	
.mxf	XAVC	AAC	
	XAVC MPEG-4 LongGOP	AAC	
.m2ts	MPEG-2	MPEG audio Layer 2	
.wmx	WMV9x	WMA9	サムネイルが表示できない

表 3 非対応ファイル一覧

10. 基本仕様

出力		
対応フォーマット	1920×1080 59.94i	
ビデオ出力	HD-SDI/HDMI	BNC 2 系統内、1 系統はスーパー付 (ON/OFF 可能) HDMI 1 系統
オーディオ	SDI Embedded	48KHz 24Bit 8ch
対応再生	ファイル形式	MP4 / MOV / AVI 等 順次対応拡張
コーデック	コーデック形式	H.264 順次対応拡張
入力		
REF	Frame Synchronizer 搭載	BNC 1 系統 BB のみ
HDMI	HD-SDI コンバート機能	HDMI 1 系統 (対応フォーマット 1080i のみ)
インターフェース		
LAN	RJ-45 1 系統 Gigabit Ether	
USB	Front : 1 系統 Rear : 2 系統(デバイス接続用)	
カードリーダー	SD,CF,MS,MMC など	
対応メディアフォーマット	NTFS、FAT32、FAT	
前面表示	液晶ディスプレイ	液晶ディスプレイ 2.0 インチ テキストリスト表示、サムネイルリスト表示、再生ステータス
背面表示	HDMI 出力	1 系統 テキストリスト表示、サムネイルリスト表示、再生ステータス、再生映像
操作		
ボタン	本体前面	前面 十字ボタン+4 ボタン / ヘッドフォン Vol Up/Down <機能> ファイル選択 : カーソル移動/決定/中止(メニュー)/表示切替/HDMI 切替 再生 : 再生/一時停止/停止/REW(10 段階)/FF(9 段階)
一般		
寸法		約 W213×D350×H43(mm) 1 U ハーフラックサイズ
質量		約 2Kg
消費電力		DC12V 20W

メモ:

修理・使用方法・その他メンテナンスのお問い合わせは、まず、購入された販売店へご連絡をお願い致します。

開発・製造：

 **株式会社 オンテック**

ビデオコミュニケーション事業ユニット

東京事業所 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2丁目8番2号 プライム神田ビル 10F

TEL : 03-5256-2061 (代) FAX : 03-5256-2065

本 社 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3丁目20番27号

TEL : 06-6338-8581 (代) FAX : 06-6338-8593

Homepage : <http://www.ontec.co.jp>
